



月	日付	名前
日		

**問題**

次の「古文（太い字）」と「文章（細い字）」をまず声に出して読みましょう。古文は、読みがなを見ながら読みましょう。その後、問題に答えましょう。

春はあけぼの。

やうやう白くなりゆく山際、

少し①明かりて、

紫だちたる②雲の細くたなびきたる。

春は、ほのぼのと夜が明け始めるころが

だんだんと白くなっていく山際が、

少し明るくなつて、

紫がかつた雲が細く横長にのびている光景が良い。

「春はあけぼの。」など、文章がとちゅうで切れているような感じがするでしょう。けれど、何度も声に出して読んでいくと、言葉の調子がよく、むだな言い回しがないことに気づくと思います。

（清少納言作「枕草子」より）

1 この文章は、何について書かれていますか。

ア 春の夜明けの景色の美しさ。

イ 春の季節全体の美しさ。

ウ 一年中通じての夜明けの美しさ。

2 【 】の中に入るふさわしい言葉を選んで、「文章」の中に書き入れましょう。

（ 不思議だ 良い 変だ つまらない ）

3 ー①の「明かりて」の意味を「文章」から探して、ー線を引きましょう。

4 ー②の「雲の細くたなびきたる」の意味を「文章」から探して、ー線を引きましょう。